

中小企業の近未来化

第3回 5G通信と地方創生

中小企業を取り巻く環境は大きな変化の時期にある。これからの中小企業のビジネスを考える上では、中小企業近未来化における「5G通信と地方創生」に向け、現実的な未来の変化とその対応について、

三枝国際特許事務所
中小企業診断士・柚木氏



は5G通信により飛躍的に向上する。その速度は従来に比べ100倍といわれ、通信速度の遅延がある通信の遅延は5G以下

なくなる。降の世界では解消し、会社の遅延がない世界では自動車の運転は遠隔地から操作でき、医療は離島の患者を東京の医師が手術で済ませることが可能。建設現場や農業では既に試験成功に導くには環境に最適した機械化、自動化が導入することも可能。この導入した動きは他に先んじて行うことが優位性となる。前回に触れたブルーオーシャンにもつながる。少なくとも地方であることが原因で断念していたビジネスはもう一度検討してみよう。とは、新時代の人材確保課題に人手不足がある。特に、人口減少が著しい地方企業では深刻な問題だ。しかし通信速度が向上することで、どこにいても必要な人材を確保できる。具体的には、次回「RPA（ロボティクスによる業務自動化）」

「地方」という境界線は消える

新時代の働き方とは

同時に、あらゆるテクノロジーはあらかもそこに人がいるように振る舞うことができる。つまり、新時代を迎えるといえる。まず、オフィスワークはどこにいても可能となり、テレワークの課題である通信の遅延は5G以下になる。これは地方（ここでは東京以外を地方と呼ぶ）の企業にとって、これまでのような不利がない。次第で素早く低コストで導入することも可能。この働き方や、スキルを生かせる企業を求める人が増えることによる、人材の流出を考慮する必要性が高まるということだ。

は3月11日掲載。